

### 3 天竜高等学校 実施報告書

1 実施日時 令和7年9月23日（火・祝）9時00分から15時00分まで

2 実施場所 天竜高校 視聴覚室（浜松市天竜区二俣町二俣601）

#### 3 実施内容

(1) タイトル 「こどもと描く未来の街～キッズ建築プロジェクト in クローバー通り～」

#### (2) 内容

小中学生を対象とした、建築コンペティションを開催する。



クローバー通り（浜松市二俣）と関連付けたテーマを設定し、クローバー通りの課題解決や町おこしのきっかけとなるアイデアを収集する。



考えられたアイデアを、建築系列の高校生と一緒に模型化する。



アイデアの内容や、模型の完成度を元に審査し、優秀な作品を表彰する。審査員として磐田市在住の建築家、渡辺隆(わたなべたかし)氏をお呼びして、プロジェクト進行のサポートや作品の審査を行っていただく。

#### プロジェクトの概要

##### <テーマ設定>

- 建築に興味を持ってもらいたいと思ったから  
→私たちは建築系列に所属し、日々建築について学んでいます。授業や課外活動では、構造や施工などの基礎に加え、実習やコンペティションを通して建築そのものの面白さや奥深さを実感しています。建築はとても魅力的で、私たちの暮らしの中に身近に存在する、大切なものだと感じています。だからこそ、この楽しさや魅力を、少しでも多くの方に伝えたいと思いました。
- クローバー通りの魅力を知ってもらいたいと思ったから  
→クローバー通りは、天竜高校から徒歩3分ほどの場所にあり、通学の際に通る生徒も多く、私たちにとって非常に身近で親しみのある商店街です。昭和58年ごろに誕生し、かつては浜松市の中でも中心的な存在として栄えていました。しかし近年では、少しずつ活気が失われ、衰退の傾向が見られるようになってきました。私たちは、この商店街が再び輝きを取り戻すきっかけの一つになればという思いから、今回の建築コンペのテーマにクローバー通りを設定しました。
- 審査委員側の視点を学ぶ  
→私たちは、普段の建築の学習だけでなく、課外活動として多くのコンペティションに参加してきました。コンペに取り組む中で、審査員側の視点に興味を持つようになりました。私たちも将来、建築家を目指して学校の勉強に励んでいるため、審査員はどのような視点で作品を見ているのか、審査の際にどのようなことを心がけているのかを知りたいと思いました。

## <イベント実施までのプロセス>

6月下旬	ドリーム・プロジェクト採用決定
7月上旬	チラシの作成・審査委員選考
7月中旬	チラシ配布(近隣周辺の小中学校・天竜区役所・天竜商工会) 参加募集フォーム開設 審査委員決定(渡辺隆さん)
7月下旬	渡辺隆さんとの初交流・会議 参加募集フォームの締め切り
8月上旬	事前アイデア交流会・作品提出開始
9月上旬	作品提出〆切 クローバー通り模型製作開始
9月中旬	渡辺隆さん、静岡理工科大学インターンとの交流・会議 当日スケジュール検討
9月22日	前日準備・クローバー通り模型完成
9月23日	イベント当日

## <イベント当日>

9:00 開講式・説明	13:00 最終仕上げ
9:10 敷地決め	14:00 審査
9:20 サンプル模型づくり	14:30 結果発表・講評
9:30 模型作り開始	15:00 終了
12:00 模型作り終了	解散

## 5 感想

今回のプロジェクトを通して、私たちなりに良い企画を実現できたのではないかと感じています。

企画を始めた当初は、その規模の大きさや実現の難しさに圧倒され、不安を感じることも多くありました。特に、参加者への呼びかけやメールでのやり取りなど、私にとって初めての経験が多く、戸惑うこともありました。しかし、それらの仕事をこなしていく中で、目上の方との丁寧なメールのやり取りの仕方、事務的な作業の進め方、企画を実現するための具体的なプロセスなど、多くのことを学ぶことができ、自分自身の成長を実感することができました。準備期間は大変ではありましたが、学びが多く、楽しくもありました。

また、企画を進めていく中で、仲間や先生方と協力し合いながら準備を進めることで、大きなやりがいを感じることができました。チームで協力して取り組んだ経験は、何よりも貴重だったと感じています。

イベント当日は、審査員としてご協力いただいた建築家・渡辺隆さんの存在もあり、和やかな雰囲気の中でプロジェクトを進行することができました。建築学科の高校生と小中学生の参加者が一緒に模型を製作している様子はとても印象的で、互いに協力し合う姿が

多く見られ、とても嬉しく思いました。

提出された模型やアイデアは、想像以上に完成度が高く、小中学生ならではの柔軟で自由な発想が多く見られました。最優秀賞に選ばれた作品は、建築的な工夫に加えて、クローバー通りとのつながりをしっかりと意識した提案がなされており、非常に素晴らしい作品でした。

また、今回のプロジェクトでは、「審査する」という立場を経験することもできました。審査を通して、審査員によって価値観や視点が異なることを実感し、審査基準に合わせたアイデアの提案が重要であることを学びました。同時に、できる限り公平性を保ち、多様な視点を取り入れながら判断することの大切さにも気づかされました。

企画終了後には、参加者や先生方から多くの温かい言葉や称賛の声をいただき、大きな達成感を得ることができました。参加してくださった皆さんに、建築の楽しさや魅力、そしてクローバー通りの存在や魅力を伝えることができたのではないかと思います。

今回のプロジェクトは、私たちにとって学びの多い機会となっただけでなく、地域であるクローバー通りに活気をもたらすきっかけともなりました。そして、参加者の皆さんにとっても建築に触れる貴重な経験になったことと思います。

このような形で、地域と建築、そして人をつなぐプロジェクトに関わることができ、とても充実した時間を過ごすことができました。今後も、今回の経験を活かして、さらに魅力ある活動に取り組んでいきたいと感じました。



↑ 天竜区役所での広報活動



↑ 小学校、中学校での広報活動



↑ 事前アイデア交流会



↑ 建築家の渡辺隆との1回目の交流・会議



↑ 建築家の渡辺隆との2回目の交流・会議



↑ 有志が集まった生徒とともに模型作り



↑ 有志が集まった生徒とともに模型作り



↑ 当日の開会式



↑ 模型作りの材料説明



↑ 渡辺隆さんが持参した模型の説明



↑ 渡辺隆さんが持参した模型



↑ 参加者による模型作りの様子①



↑参加者による模型作りの様子②



↑参加者による模型作りの様子③



↑参加者による模型作りの様子④



↑参加者による模型作りの様子⑤



↑参加者による模型作りの様子⑥



↑作成した模型を商店街の模型に設置



↑参加者による模型のコンセプト説明



↑渡辺隆さんとの審査の様子



↑ 上位 4 作品の表彰



↑ 参加者全員で記念撮影



↑ 参加者の作品例①



↑ 参加者の作品例②

その後の活動として、プレ葉ウォーク浜北の「2025 ザ・山フェス」のイベントに登壇し、今回のプロジェクトの成果報告をさせていただきました。



↑ 模型を展示



↑ イベントの様子

